

オートバックス通信

第65期 第2四半期

2011年4月1日から2011年9月30日まで

Vol. **37**

明るく元気なあいさつでお客さまをお迎えし、お客さまにとって最適な商品・サービスの提案ができるよう常に心掛けています。

カーライフアドバイザー
山田 由紀
スーパーオートバックス東京ベイ東雲



株主・投資家の皆さまへ

いつもオートバックスグループをご支援いただきありがとうございます。東日本大震災により営業停止を余儀なくされていたオートバックス石巻店、オートバックス多賀城店が8月に再開いたしました。ご支援いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。この再オープンを通じて、オートバックスが地域社会に無くてはならない業態であることを再認識するとともに、地域のお客さまからの信頼、信用を大切にしていかなければならないと感じました。今後もオートバックスのブランド価値、株主価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいります。

2012年3月期 第2四半期累計期間の概況

当第2四半期累計期間における国内自動車関連市場は、東日本大震災後の自動車生産台数および販売台数の低迷により、カーアクセサリ需要が減少する一方で、東北地方を中心にメンテナンス関連用品や中古自動車の需要が増加するなど、様々な要因が混在する不透明な状況となりました。

このような環境の中、当社グループは「カー用品販売」におけるタイヤを軸にメディアも活用し、積極的な販促活動を展開しました。その結果、タイヤ販売はナショナルブランドのタイヤの値上げと気候や震災によるスタッドレスタイヤからの履き替え時期が4月以降へずれ込んだことも加わり売上が増加しました。また、地上波テレビのデジタル放送への移行に伴い、地上波デジタルチューナーなどの販売が好調に推移しました。しかしながら、新車販売台数の低迷により車内アクセサリやインテリアなどの売上が減少しました。加えて、



昨年の猛暑の反動でバッテリーの売上也減少しました。

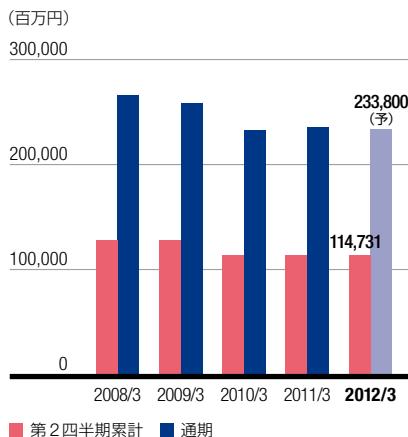
他方、6月以降は回復を見せている「車検・整備」は、車検実施台数が前年同期比8.0%増の約25万台となりました。「車販売・買取」では、被災地における中古車需要の高まりに応じて、店舗における買い取り台数と東北地方の販売台数を順調に伸ばしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結業績は売上高が前年同期比0.3%減の1,147億3千1百万円となりました。しかしながら利益面では、営業利益が販管費及び一般管理費の絞り込みなどにより前年同期比49.1%増の61億6千6百万円となり、四半期純利益も特別損失の減少などがあり、前年同期比146.4%増の42億2千5百万円となりました。

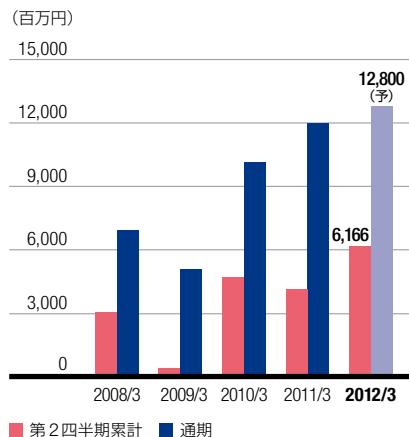
中期経営計画の進捗状況

当社グループは前期にスタートした「オートバックス2010 中期経営計画」の達成を目指し、引き続き「売場改革」

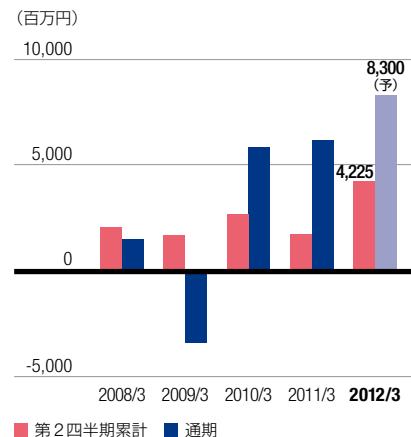
連結売上高



連結営業利益



連結四半期純利益



「新規出店」「仕入改革」「待遇改革」に全グループ丸となって取り組みました。

「売場改革」においては、当期215店舗実施する計画のオートボックス業態の改装を103店舗実施し、「新規出店」は6店舗を出店しました。なお、当期の新規出店計画は当初の31店舗に対し、立地開発上の理由から現時点で25店舗程度にとどまる見通しです。「仕入改革」につきましては、仕入先と連携した戦略的な取り組みにより粗利率の改善に努めました。「待遇改革」では、当第2四半期末時点でオートボックスチェーンの在籍社員の約64%が待遇研修の受講を完了しています。これらの取り組みテーマについては、下期もスピード感をもって推し進めていきます。

株主還元に関する方針

当社は、中期経営計画において連結株主資本配当率(DOE)

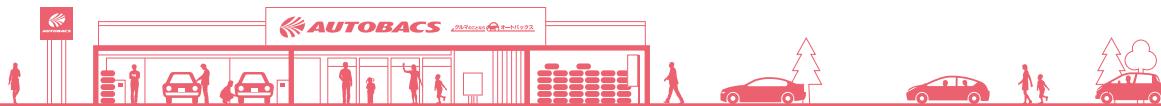
3%を目処とする配当および柔軟な自社株買いを株主還元の方針としています。前期はDOE3.2%、配当性向70%を達成しました。当期も引き続き株主還元の強化に取り組み、自社株買いを行うなど、1株当たりの利益向上に努めていきます。

当期の中間配当金につきましては、前述の基本方針のもと、前期の中間配当金に比べ5円増配し、1株当たり70円とさせていただきます。今後も安定的で魅力的な配当を実施していきたいと考えています。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループに対するご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員

湧田節夫



海外展開の進捗状況

当社グループは、長期的な視点から海外事業を成長分野として考えています。

特にアジアを中心とした展開・拡大を実験的に進めており、

現在、海外5地域において26店舗を展開しています。

うち17店舗は当社子会社が、9店舗はフランチャイズ(FC)法人が運営しています。



フランス

現地子会社による直営店舗が9店舗、FC法人が運営する店舗が2店舗あります。オートボックスの圧倒的な品揃え



ボナーユ店

と質の良いサービスは、徐々にフランスのお客さまの心をつかみ始めています。また、店舗運営の効率性が向上し、収益の改善が進んでいます。今後も質の高いサービスで差別化を図ることにより、現地法人および店舗の収益拡大を図っていきます。



シンガポール・タイ

シンガポールで2店舗、タイでは4店舗を展開しています。両国ともに自動車に対するメンテナンス需要が大きく、カー用品とサービスを合わせたオートボックス業態が、現地のお客さまに受け入れられています。



今後は両国を足掛かりにASEAN地域へのさらなる出店を計画しています。



シンガポール ブキパト店



タイ シラチャ店



タイ チェーン・ワッタナ店



中国

現地子会社による直営店舗が上海に2店舗、FC法人が運営する店舗が北京、鄭州にそれぞれ1店舗あります。中国における自動車保有台数は年々増加傾向にあるものの、自動車アフターマーケットに対する認知度は低い状況です。しかし、中国は経済成長が著しい国の一つであり、国民所得の増加や自動車文化の深化に伴い、数年後にはカー用品市場も拡大するものと期待しています。当社では、現地における最適なビジネスモデルの構築を目指し、上海の店舗において実験と検証を行っています。



上海 曹安公路店



台湾

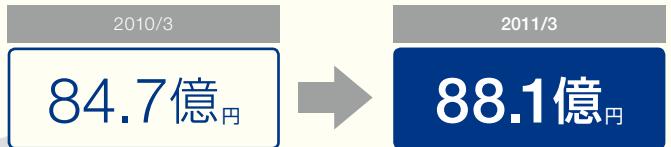
現地FC法人が5店舗を運営しています。日本と同じように自動車文化が発達している台湾では、オートボックスに対するお客さまの認知度も高く、多くのお客さまにご支持いただいています。



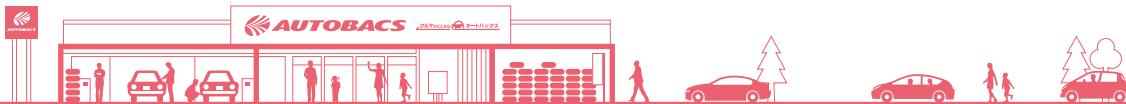
内湖瑞光店



海外子会社の売上高



知っ得!
カー用品



上半期の売れ筋商品を ランキング形式で発表!

ナビゲーション



パイオニア
Carrozzeria AVIC-MRZ99
128,000円*

画質のきれいなフルセグを搭載した低価格モデルであるため、価格・機能バランスが支持されています。特に3年間の地図更新無料も好評で、アナログ停波を背景に販売が好調に推移しました。



ケンウッド
KENWOOD MDV-727DT
148,000円*



ケンウッド
KENWOOD MDV-313
99,800円*

地上デジタルチューナー



パイオニア
Carrozzeria GEX-900DTV
32,000円*

価格と機能のバランスが良く、店舗および純正ナビユーザーのお客さまの支持を得ました。競合店に先立ち、オートバックスグループが商品を確保できたことにより、販売数を順調に伸ばしました。



パナソニック
Panasonic TU-DTX600
47,800円*



トライウィン
Trywin DTF-7600
※現在、メーカーより販売が終了しています。

スマートフォン関連グッズ



セイウ
デジタルチャージャーXR D332
798円*

最新の機種にも対応しているmicroUSB端子仕様のスマートフォン専用充電器です。従来の携帯電話からスマートフォンに移行されるお客さまが増えており、それに伴う買い替え需要の高まりが要因です。



ナポレックス
テレフォンホルダー 3D Fizz-876
980円*



ヤック
ピタンコ TELホルダー PZ-527
1,480円*



冬季の安全ドライブに向けた オススメ商品!

スタッドレスタイヤ



当社プライベートブランド商品

オートバックス
ノーストレックN2

高性能を手軽に試せるプ ライベートブランド

炭酸カルシウム分子を配合した天然素材のカルザックが、あらゆる冬の路面(アイスパーン、雪上路面、シャーベット路面)で高いグリップ性能を発揮するオートバックスオリジナル商品です。

スタッドレスタイヤ



ブリヂストン
BLIZZAK REVO GZ

燃費向上にも貢献するスタ ッドレスタイヤ

タイヤの転がり抵抗の低減、軽量化などを図り、クルマの燃費向上による走行時のCO₂排出量の削減に努めるなど、①地球温暖化防止、②省資源の推進、③自然資源の活用、④リサイクル、⑤騒音低減、⑥安全性向上においてブリヂストン社の基準を満たしている商品です。

タイヤチェーン



当社プライベートブランド商品

ザックピック
スノートロッター3

非金属タイヤチェーン

樹脂タイプで耐久性に優れており音も静かです。また、ツイストロックシステムによりジャッキアップが不要となり、ハンドルを回すだけで締め付けを完了することができ、スピード装着を可能にしています。

タイヤチェーン



当社プライベートブランド商品

PEWAG
スノーフィックス スタンダード

金属チェーン

ニッケルマンガン合金鋼を使用することで耐久性・耐摩耗性がアップしており、両面使用可能のため経済性も抜群です。また、横滑りに強い変形亀甲パターンと角型断面リンクを使用し、雪道・アイスパーンに強く収納もコンパクトです。



タイヤ販売の信頼・安心感を訴求するテレビCM放映開始!

当社グループは、9月21日よりオートバックス店舗におけるタイヤ販売の信頼感、安心感を訴求するテレビCMの全国放送を開始しました。

新テレビCMは、快適なクルマ生活を研究する「クルマニア教授(上川隆也さん)」と「ワカバ助手(波瑠さん)」が、快適なクルマ生活を送るための様々な発見をしていく設定となっています。

当社グループの看板商品の一つであるタイヤを切り口に、オートバックス店舗の魅力と価値をお伝えしていくと同時に、タイヤについての知識やサービスをご覧いただけるウェブサイトを開設しました。テレビCMとウェブサイトの連動による相乗効果により、タイヤ販売・サービスへの認知度向上を図っていきます。

ATC(オートバックス・タイヤコンサルタント)とは?

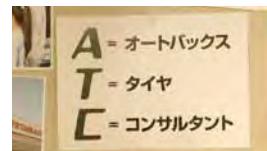
タイヤ・ホイールに関する専門的な研修を受け、試験に合格したタイヤ・ホイールのスペシャリストのこと。豊富な知識を持つ担当者(ATC)が、お客様の愛車に最適なタイヤをお選びします。現在、ATCは全国のオートバックスグループに約1,500名在籍しています。



「タイヤ安全点検」篇



「タイヤコンサルタント」篇



TV-CMギャラリーでは「タイヤ安全点検」篇、「タイヤコンサルタント」篇のほか、スペシャルムービーとしてテレビコマーシャルのメイキング映像をご覧いただけます。

詳細は<http://www.autobacs.com/kurumania/>にてご覧いただけます。

クルマニア教授

IR・広報部からのお知らせ

いつもお読みいただきありがとうございます

「オートボックス通信」Vol.35～36は、観音開きの体裁を採用しました。中間期にあたるこのVol.37では財務情報などを紙面にしてお知らせするため、ページ数を増やしましたが、いかがでしたでしょうか。

また、いつもプレゼント企画へ多数のご応募をいただき誠にありがとうございます。応募して下さった皆さま全員にプレゼントをお送りできず申し訳ございません。今後もプレゼント企画を継続していきますので、ぜひご応募ください。

プレゼント応募に寄せられたご質問に対する回答

Q1 同じ商品でも店舗により価格差があるはなぜでしょうか。

A1 オートボックスグループ店舗は、一部の直営店を除き独立したフランチャイズ加盟法人に経営されており、当社は小売価格を決める権利を有していません。これは独占禁止法で卸売業者が再販売価格を設定することを禁じられているからです。

Q2 プレゼント内容が商品になったのはなぜでしょうか。

A2 欲しいプレゼントとして「様々なカー用品」を挙げるお声が多く、また、当社としても株主の皆さまに新商品などを知っていただく良い機会としてとらえ、プレゼント内容を変更しました。応募数が増えたことからご好評を得ていると認識しておりますが、従来のレースチケットプレゼントも今後は検討していきます。

ホームページに新コンテンツを新設

当社では、個人株主・投資家向けに提供する情報の充実化に取り組んでいます。その取り組みの一つとして11月より、ホームページ上に「もっと知ってほしい！オートボックスセブン」という、個人投資家向けのコンテンツを新設しました。特に、初めて当社に興味を持っていただいた方にとっては、当社の強みやビジネスモデル、取り扱い商品・サービスなどについて簡単に理解できる内容になっています。

「もっと知ってほしい！オートボックスセブン」の一部をご紹介します



トップページにおいて、個人投資家の皆さまにお伝えしたい内容を整理し、デザインも親しみやすいものになっています。



「5つの強み」として、「店舗」「人材」「品そろえ」「市場シェア」「財務健全性」という内容でご説明しています。

< URL > <http://www.autobacs.co.jp/ja/ir/kojin.html>

財務報告

(2012年3月期第2四半期累計期間)

連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2010年9月30日現在)	当第2四半期 (2011年9月30日現在)	前期 (2011年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	124,377	126,108	133,031
固定資産	75,167	76,355	74,763
有形固定資産	36,807	38,245	36,931
無形固定資産	6,213	5,389	5,938
投資その他の資産	32,146	32,720	31,893
資産合計	199,545	202,463	207,794
(負債の部)			
流動負債	35,048	39,501	40,648
固定負債	18,813	17,759	19,183
負債合計	53,861	57,261	59,832
(純資産の部)			
株主資本	145,387	145,209	147,624
その他の包括利益累計額	△195	△525	△120
少数株主持分	491	518	458
純資産合計	145,683	145,202	147,962
負債純資産合計	199,545	202,463	207,794

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当第2四半期 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	前期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,566	7,083	15,375
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,648	△13,357	△5,002
財務活動による キャッシュ・フロー	△9,274	△7,061	△11,790
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△83	△145	△52
現金及び現金同等物 の増減額(減少：△)	△6,440	△13,481	△1,469
現金及び現金同等物 の期首残高	53,785	52,316	53,785
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	47,345	38,834	52,316

連結損益及び包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	当第2四半期 (自2011年4月1日 至2011年9月30日)	前期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)
売上高	115,034	114,731	236,350
売上原価	79,263	77,830	160,611
売上総利益	35,770	36,901	75,739
販売費及び一般管理費	31,634	30,734	63,750
営業利益	4,136	6,166	11,988
営業外収益	2,266	2,548	4,252
営業外費用	2,009	1,455	3,181
経常利益	4,393	7,259	13,060
特別利益	974	—	1,098
特別損失	2,174	59	2,657
税金等調整前四半期 (当期)純利益	3,193	7,200	11,501
法人税、住民税 及び事業税	211	2,805	4,370
法人税等調整額	1,243	152	905
少数株主利益	23	16	45
四半期(当期)純利益	1,714	4,225	6,179
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	1,738	4,242	6,225
その他の包括利益	△329	△426	△252
その他有価証券 評価差額金	△75	△54	△86
為替換算調整勘定	△256	△372	△168
持分法適用会社 に対する持分相当額	2	1	2
四半期(当期)包括利益	1,408	3,816	5,972

会社情報

(2011年9月30日現在)

商号	株式会社オートバックスセブン AUTOBACS SEVEN CO., LTD.		
創業	1947年2月		
資本金	339億9千8百万円		
主な事業内容	各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェーン展開しております。		
国内店舗数	オートバックス	411店舗	
	スーパーオートバックス	76店舗	
	オートハローズ	1店舗	
	セコハン市場	21店舗	
	オートバックスエクスプレス	5店舗	

役員一覧

【取締役・監査役】

代表取締役	湧田 節夫
取締役	経森 康弘
取締役	森本 弘徳
取締役	田村 達也 ※1
取締役	服部 範雄 ※1
取締役	松村 晃行
取締役	小林 喜夫巳
取締役	島崎 憲明 ※1
監査役	井手 秀博
監査役	清原 敏樹 ※2
監査役	池永 朝昭 ※2
監査役	坂倉 裕司 ※2

【執行役員】

社長執行役員	湧田 節夫
副社長執行役員	経森 康弘
専務執行役員	森本 弘徳
上席執行役員	松村 晃行
上席執行役員	小林 喜夫巳
上席執行役員	上西園 英司
上席執行役員	吉山 弘樹
執行役員	江本 吉弘
執行役員	熊倉 栄一
執行役員	加藤 哲也
執行役員	佐々木 勝
執行役員	藤原 伸一
執行役員	角倉 正親
執行役員	榎 宏介
執行役員	戸出 譲
執行役員	小平 智志
執行役員	勝島 雅彦
執行役員	平田 功

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

株式の状況

(2011年9月30日現在)

発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	34,251,605株
株主数	13,940名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
	なお臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先	0120-176-417
インターネット ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

大株主一覧

有限会社スミノホールディングス
いちごトラスト
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)
サブアカウント アメリカンクライアント
公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)
株式会社スミシヨウホールディングス
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー
リユーエスタックスエグゼンプテドペンションファンド
エイアイジー・スター生命保険株式会社

注)1. 当社は自己株式1,261千株(所有割合3.68%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2011年9月30日現在)。

2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。

2012年版オートボックスカレンダー

にぎやかでカラフルな四季折々のシーンを舞台に、人がクルマで向かう行楽地やリゾート地の中にオートボックスの店舗がある、オートボックスオリジナルのカレンダーです。



抽選で200名さまにプレゼント!

応募要項

官製はがきに下記①～⑤を明記の上、宛先住所までご送付ください。
なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
(ご応募いただいた方の個人情報を本プレゼント企画の連絡以外の目的で使用することはありません) ①氏名②郵便番号/住所③電話番号
④年齢⑤今後オートボックス通信で取り上げてほしいテーマなど。

宛先

〒135-8717
東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント
オートボックスセブンIR・広報部
「オートボックス通信 vol.37 カレンダープレゼント」係

応募締め切り

2011年12月19日(当日消印有効)

株主優待制度について

当社では、より多くの株主の皆さまにオートボックスチェーンの店舗の魅力を知っていただくため、1,000円(消費税込み)のお買い上げごとに1枚ご利用できる株主優待券(300円値引)を進呈しております。

株主優待の内容

所有株数	株主優待券
100～999株	25枚
1,000株以上	50枚

株主優待券の発送日

- 3月31日現在の株主さま …… 6月下旬発送
- 9月30日現在の株主さま …… 12月上旬発送
(単元株数以上を所有し、株主名簿に記載されている株主さまを対象)

株主優待のご利用可能店舗



株主優待券は、車検・整備(基本料・工賃・部品代など)にもご利用いただくことができます。ただし、メンテナンスパック、燃料、車両、廃タイヤ処分料、リサイクル料にはご利用いただけません。詳しくは、優待券の裏面をご参照ください。

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社オートボックスセブン

〒135-8717 東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント



オートボックス通信は、大豆油インキで印刷しています。

お問い合わせ先

●IR情報に関するお問い合わせ先

IR・広報部

電話: 03-6219-8718 E-mail: investors@autobacs.com

●住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ先

住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先: 0120-176-417